

「題目」

(氏名 (学籍番号) or コース名、学籍番号、氏名)

1. はじめに (15%)

1.1 問題の在処 (10%)

私がこの問題を提起したのは、～

先行研究では、～

1.2 研究の目的 (5%)

この問題について以下の点を明らかにしたい。

・なぜ、この問題は～

・いつごろからこの問題を～

2. 研究方法 (研究計画) (15%)

この問題を検討するにあたって、～

3. 調査/実験 (20%)

本稿 (本研究) では、以下のような手順で調査を実施した。

(調査概要)

日時/場所

(被験者) …被験者の状況/データ数

調査条件

(※本文に組み込んで良いが、調査概要は、箇条書きの方が読みやすい。)

4. 結果と考察 (40%)

本調査によって、以下のような結果が得られた。

5. まとめと今後の課題 (10%)

ここまでの考察をまとめると、～

参考文献 (“引用文献”でも可)

著者名 (出版年)、『書名』、出版社、引用ページ。ああああああああああああああああ

ああああああああああああ

著者名 (出版年)、「論文名」、『雑誌名』、巻、号、引用ページ。

※書く順序は、研究計画→調査/実験→結果と考察→まとめと今後の課題→はじめにの順。

コメントの追加 [s1]: 中央、フォント大、副題があれば次の行にフォントは小さめ。作成日時や授業名を書いておくと親切。

コメントの追加 [s2]: 中央 or 右寄せ

コメントの追加 [s3]: 節タイトルは、ゴシックか太字にすると読みやすい。またフォントサイズを1段上げておくと読みやすい。

コメントの追加 [s4]: 本文全体に対するおおよその分量の目安。

コメントの追加 [s5]: 小節は、「1.1」「1-1」等で。

コメントの追加 [s6]: 文頭、一字下げを忘れない。

コメントの追加 [s7]: 先行研究があれば、紹介・検討しても良い。

仮説があれば、段を変えて、はっきりと示しておく。

コメントの追加 [s8]: 箇条書きの場合、後にそこを取り上げる可能性があれば、①や1. 等番号を振っておくと良い。全部の問題文や例文に番号を振る。

コメントの追加 [s9]: 調査・実験の状況は出来るだけ性格に示す。

コメントの追加 [s10]: レポート (論文) のメイン部分。出来るだけ分量を取る。研究の目的ごとに小節に分けても良い。もっとも力を入れる。

コメントの追加 [s11]: 図表には、必ずタイトルと通し番号を入れること。

コメントの追加 [s12]: 本稿での主張 (結果と考察) を簡潔にまとめ直す。

コメントの追加 [s13]: 問題のない (課題が全て解決された) 研究はない。必ず不備や追求が足りない部分がある。それを認める (客観視する) ことが良い研究の条件。言い訳にならないことに注意する。

コメントの追加 [s14]: 文献が2行にわたる場合、2行目を2字程度インデントしておく読みやすい。